

晴天に恵まれた6月1日(土)、関西慶應寮和会第15回定例懇談会を大阪万博公園にある「太陽の塔」で開催。塔内の見学会とその後の懇親会を、ご家族の参加を含め30名の参加で行いました。

<参加者> 敬称略 (25名: 部分参加も含む)

S41 法 相本 琢郎	S42 法 酒井 克己	S43 経 飛鳥 久範
S47 経 松尾 哲雄	S48 商 山内 正明	S49 工 三角 竜二
S52 工 青嶋 義晴	S53 商 西村 元秀	S55 法 山代 和也
S56 商 佐谷 匡	S58 工 松永 修	S61 商 阪本 光宏
S61 経 山岸 秀聡	S63 商 小堀 誠	H02 法 竹崎 誉
H03 理 豊田 秀明	H03 商 茂木 裕康	H04 商 井内 達彦
H05 経 浄住 徹朗	H06 理 渡邊 正勝	H10 理 兵藤 公治
H16 経 宮崎 博	H24 経 岡本 星矢	H24 理 柿堺 悠
H25 理 横山 尚明		

## ○第15回定例懇談会

### 【第1部】太陽の塔見学会

テーマ: 祝2025年大阪万博開催決定! あの「EXPO70」の時代にタイムスリップ

太陽の塔の内部は大阪万博では公開されていましたが、以降長く非公開となっていました。2018年にリニューアルされて再び公開されるようになりました。

家族連れでの参加が複数組(3組)あったのは過去15回の定例懇談会では初めてのことであり、久しぶりに公開された太陽の塔への関心の高さがうかがえました。

地下通路から太陽の塔の内部に入りました。入って直ぐの場所に、リニューアル時に復元された<第4の顔>が展示されており、いきなり目を奪われてしまいました。(写真1)

塔内には地球上の生命の根源を示した巨大な「生命の樹」(写真2)がそびえ立っていました。階段は「生命の樹」の周囲にらせん状に配置されており、「生命の樹」にぶら下がる原生物～恐竜～人類に至るモニュメントを身近に見ることが出来、岡本太郎氏が当時、この「生命の樹」で何を表現したかったのか思いを馳せながら最上部にたどり着きました。



写真1. 第4の顔

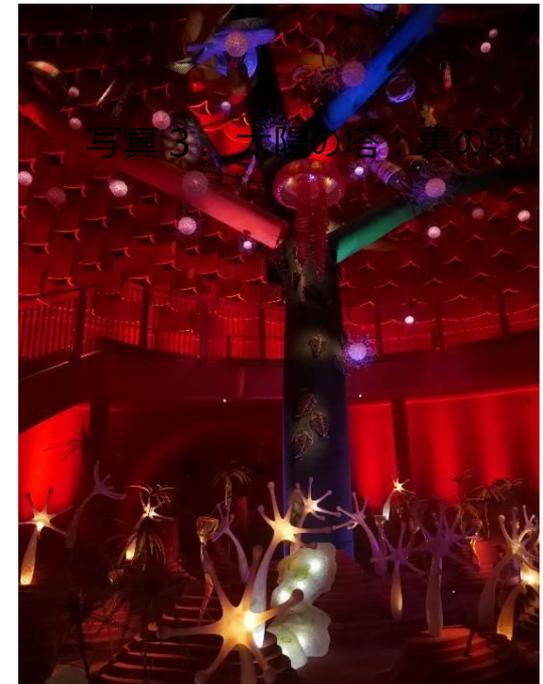


写真2. 生命の樹

太陽の塔はよく知られている表の顔だけでなく裏の顔も持っています。塔見学が終わってから、それぞれ裏の顔（写真3）と表の顔（写真4）の前で全員で写真撮影を行いました。

## 【第2部】懇親会

午後5時より、モノレールで2駅隣の千里中央の「イタリアン・バル」で、西村会計監査の司会、松尾会長の乾杯により懇親会をスタート。半ばで初参加の佐谷OB、遠路はるばる横浜から参加の柿塚OBの挨拶がありました。

宴もたけなわとなり、三角会長補佐の挨拶、阪本会計の中締めで大盛況のうちに閉会しました。  
（写真5）

（記者：宮崎博）

## ○編集後記

太陽の塔が公開され大人気である聞き、2月2日（土）の幹事会の席上、直接事務局に電話し、運よく団体予約をすることが出来ました。

私が大阪万博に来たのは小学校五年生の時。久しぶりの太陽の塔でなつかしさを感じました。五年後の大阪万博も今から楽しみです。

また、今回は、3組が家族連れで懇談会に参加して頂きまして有難うございました。

11月の定例懇談会は、友人の方とお誘いあわせの上、ご出席をお願いします。また皆様にお会いすることを楽しみにしています。

以上



写真3. 太陽の塔：裏の顔で



写真4. 太陽の塔：表の顔で



写真5. 宴の終わりに